

I. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

中国では、秦の時代から (1) (2) に当たる律が編纂されていたのに対し、日本では、(3) (4) としての令の方が優先された。670年、最初の全国的な戸籍である (5) (6) を作成した天智天皇が、最初の法典 (7) (8) を制定したといわれている。その後、天武天皇が編纂を命じ、689年、持統天皇の時に (9) (10) が施行され、690年、それに基づき戸籍である (11) (12) が作成された。そして、701年、(13) (14) や (15) (16) らによって大宝律令が制定され、律令制度による政治の仕組みがほぼ整った。その後、(15) (16) らによって編纂された養老律令は、大宝律令を大きく変えたものではなく、757年、(17) (18) によって施行された。平城天皇のあとを継いだ (19) (20) 天皇のもとでは、法制の整備が進められた。律令制定後、社会の変化に応じて出された法令を、律令の規定を補足・修正する格と施行細則の式とに分類・編集するようになり、(21) (22) (775～826) らによって弘仁格式が編纂された。これは、官庁の実態にあわせて政治実務の便をはかったもので、この後、さらに藤原氏宗らによって (23) (24) 格式が、そして (25) (26) (871～909) らによって延喜格式がそれぞれ編纂された。そのほか、国司交替についての規定として、(27) (28) , (23) (24) , 延喜の三代の交替式も制定された。令の解釈に関して、833年、(a) が清原夏野らによって完成され、9世紀後半には、惟宗直本によって (b) が完成された。

10世紀になると、律令体制の崩壊がはっきりしてきた。902年、^(ア)違法な土地所有を禁ずる法令を出したり、班田の励行をはかるなどして、令制の再建を目指した。だが、もはや戸籍・計帳の制度はくずれてきており、班田収受も実行不可能となっていた。914年、三善清行が (29) (30) 天皇に提出した (c) にも、そのころの地方政治の混乱ぶりが指摘されている。

10世紀以降、律令・格式の編纂ののちに朝廷から出された法令は、次第に新制とよばれるようになった。(31) (32) の新制は、律令が機能しなくなった状況において、荘園整理を基本としながらも荘園を基盤とする権門や、所領を開発して武威を発揮する武士、社会活動のなかで神仏の加護を求めて活動する僧や神人などを、天皇のもとに統合しようとする試みであった。(33) (34) の新制は、(31) (32) の新制を受け継ぎつつ、幕府の存在を認め、諸国の守護を委任するとともに、朝廷内部の規律も定め、京都の支配について検非違使を中心に整えるなど、その後の公家政権の基本的な法となった。

一方、鎌倉幕府も新たな法制を模索していた。武士たちは ^(イ)道理を重んじて日常生活を営み、また紛争を処理する規範としていた。しかし、地域的差異が存在していたり、相互矛盾していることもあり、従来の法制は、武士の土地支配が進展して所領紛争が全国各地で頻発するという社会情勢には適合しなくなっていた。幕府は、成文法を制定する必要にせまれ、武家政権の根本法典としての御成敗式目を制定した。これは室町幕府を経て、江戸幕府の武家諸法度まで影響を与えることとなった。御成敗式目には、御家人の権利義務や所領相続の規定も多く、親から子へ譲った所領に関して (35) (36) が規定されているが、これは武家独自の規定である。御成敗式目の適用は武家社会に限られ、朝廷の支配下では公家法、そして荘園領主の下では (37) (38) がそれぞれ効力をもっていた。

戦国時代になると、戦国大名のなかには、戦いに勝ち抜き、領国経営を安定させるために領国支配の基本法である^(ウ)分国法(家法)を制定する者があった。それらのなかにある (39) (40) は、それまでの紛争解決手段の一つとして慣習的に認められていた私闘を禁止し、すべての紛争を大名の裁判のもとで解決させることによって、領国の平和を実現しようとしたものであった。この姿勢を受け継いだ豊臣秀吉は (d) を発し、私闘の停止と領地の確定を自らの手で行うこととなった。

〔A〕 文中の空欄 (1) (2) ～ (39) (40) に入る最も適切な語句や人名を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。ただし、選択肢は 2 桁の数字であるから、次の点に注意すること。空欄の左側は 10 の位を、右側は 1 の位を表す。例えば、空欄 (1) (2) の解答が 19 だとしたら、解答欄 (1) は 1 をマークし、解答欄 (2) は 9 をマークしなさい。

《語群》

11 保元	12 郷戸	13 藤原冬嗣	14 藤原鎌足	15 村上
16 長屋王	17 長崎高資	18 孝徳	19 治承	20 飛鳥浄御原令
21 源頼義	22 行政法	23 藤原基経	24 藤原時平	25 菅原道真
26 刑部親王	27 仁安	28 醍醐	29 清和	30 不入の権
31 商法	32 庚午年籍	33 光仁	34 相对済し令	35 藤原頼通
36 斉明	37 藤原良房	38 文治	39 近江令	40 喧嘩両成敗法
41 吉備真備	42 皇極	43 藤原仲麻呂	44 藤原広嗣	45 建武
46 大津皇子	47 悔返し権	48 墾田禁止令	49 光厳	50 永徽律令
51 藤原秀郷	52 半済令	53 刑法	54 本所法	55 蓄銭叙位令
56 庚寅年籍	57 承平	58 食封	59 憲法	60 墾田永年私財法
61 元慶	62 藤原不比等	63 人返しの法	64 宇多	65 永仁の徳政令
66 三浦泰村	67 不輸の権	68 建久	69 神領興行法	70 嵯峨
71 延暦	72 桓武	73 身分統制令	74 偽籍	75 三世一身法
76 壬申戸籍	77 均田法	78 大業律令	79 貞観	80 公事方御定書

〔B〕 文中の空欄 (a) ～ (d) に入る最も適切な語句を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

〔C〕 下線部 (ア), (イ), (ウ) に関して以下の設問に答えなさい。

(ア) この法令は何と呼ばれているか。その名称を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。

(イ) 道理とは何か。その説明を解答用紙 B の所定の解答欄に 20 字以内で書きなさい。

(ウ) 1536 年伊達植宗が制定した分国法は何と呼ばれているか。その名称を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

Ⅱ. 以下の〔1〕,〔2〕,〔3〕は江戸時代に行われた幕政改革である。また〔4〕は江戸時代の教育についての記述である。次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

〔1〕

(あ)は、「諸事(え)様御定め通り」という復古的理念をかかげ、側用人政治を廃止して改革にあたった。当初は、財政難の克服が急務であった。財政収入の増大と安定のために、次の諸策がとられた。(41)(42)においては、参勤交代の在府期間を一年から半年とするかわりに、大名から石高一万石につき、(43)(44)石を献上させた。その結果、(41)(42)の総額は年18万7000石にも及び、これは幕府の年貢収入の(45)(46)割以上に相当した。年貢の徴収法を改め、増収をはかった。それまで採用されていた、収穫高を見定めてから税率を決定する(47)(48)法を改め、豊凶に関わりなく税率を一定とする(49)(50)法を採用した。米の増産を奨励すべく、(ふ)検地を行い、(ふ)開発を進めた。また、米価の上昇を通じて武家の財政を安定させるために、大坂堂島の(ぐ)を公認した。他方、財政支出の削減のために、儉約令を出し、質素儉約を奨励した。

〔2〕

(い)は、厳しい幕藩財政を再建するため、大規模な干拓工事を実施し、(ふ)開発を積極的に試み、年貢の増収をはかろうとした。他方で、都市や農村の商人や職人を(は)として広く公認し、民間の経済活動を活発にし、そこから運上や冥加等の営業税の増収を目論んだ。運上とは、幕府や藩が営業従事者に納付させる各種営業税のことで、税率は一定とされた。それに対し、冥加はもともと営業従事者が幕府や藩に献上する献金という性格をもっている。(い)が(は)を広く公認したことで、冥加の上納が増えた。また、貿易振興策として、(い)の清への輸出の増大がはかられた。長崎には、(い)役所が設置された。また貿易の際、金と銀の流出を防ぐために、銅で支払いがなされた。

〔3〕

浅間山の噴火、冷害や水害を契機に、(51)(52)の飢饉がおり、多大な被害を引き起こした。(じ)は、この(51)(52)の飢饉が奥羽地方でもたらした惨状について、その書、『後見草』の中でしるしている。天災による凶作は、百姓一揆や打ちこわしを多発させた。こうした中、改革に着手するのが(う)である。(う)は、飢饉に備えて米穀の備蓄を言いわたした。これを(53)(54)という。この頃、諸藩へは、一万石につき、(55)(56)石の備蓄を命じている。また、町人が負担していた町費を節約させ、節約分の7割を江戸町会所に積み立てさせ、その管理下においた。これを(く)という。この(く)は、非常時の(53)(54)の購入や飢饉災害時の貧民救済に当てられた。

〔4〕

1790年に(う)は、(1)を正学とし、聖堂学問所の講義を(1)に限定した。

(う) が引退した後、1797年には (57) (58) の家塾が切り離され、聖堂学問所は幕府直轄の学問所となり、昌平坂学問所と名を改めた。

幕府直轄の学問所だけでなく、藩校と私塾が教育の発展に果たした役割も大きかった。

藩が藩士子弟の教育の為に設立したのが藩校である。1719年に、毛利吉元は萩に (59) (60) を、1773年に、島津重豪が鹿児島に (61) (62) を、そして1784年に、黒田斉隆が福岡に修猷館を設立している。私塾としては、1724年に大坂に設立された (m) がある。大坂商人の経済と文化の向上を背景に、大坂の富商の出資で設立された。(m) の初代学主は三宅石庵である。儒教や仏教を歴史的立場から批判し、誠の道を説く (n) や、無神論を説き、『夢の代』を執筆した山片蟠桃が (m) で学んだ。

[A] 文中の空欄 (41) (42) から (61) (62) に入る最も適切な語句や数字を下の語群から選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。ただし、選択肢は 2 桁の数字であるから、次の点に注意すること。空欄の左側は 10 の位を、右側は 1 の位を表す。例えば、空欄 (41) (42) の解答が 29 だとしたら、解答欄の (41) は 2 をマークし、解答欄 (42) は 9 をマークしなさい。

《語群》

11 1	12 2	13 3
14 4	15 5	16 30
17 50	18 70	19 100
20 300	21 500	22 700
23 1000	24 足高の制	25 上げ米
26 囲米	27 年貢	28 寛政
29 享保	30 天保	31 天明
32 新井家	33 伊藤家	34 荻生家
35 林家	36 検見	37 本途物成
38 坪刈り	39 定免	40 寛政異学の禁
41 咸宜園	42 弘道館	43 時習館
44 造士館	45 明德館	46 明倫館
47 日新館	48 考証学派	49 折衷学派

[B] (あ), (い), (う) に入る最も適切な人名を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

[C] (e) ~ (n) に入る最も適切な語句を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

朝九時頃より灰の如きこまき雪降り来り見る見る中に積り行くなり。午後二時頃歌川氏電話をかけ来り、〔この間約四字抹消。以下行間補〕軍人〔以下補〕警視庁を襲ひ同時に朝日新聞社日日新聞社等を襲撃したり。各省大臣官舎及三井邸宅等には兵士出動して護衛をなす。ラヂオの放送も中止せらるべしと報ず。余が家のほとは唯降りしきる雪に埋れ平日よりも物音なく豆腐屋のラッパの声のみ物哀れに聞るのみ。

これは耽美派の作家とされる (63) (64) が、当時東京で書き綴っていた『断腸亭日乗』の一節である。日本は、ここに記された (o) 事件を機に軍部が急速に発言力を強めてゆくが、その後十年を経ずして (65) (66) を受諾し、全面降伏することになる。このように、敗戦に至る昭和の前半は、満州を国防の最前線として領土化しようとする企てから始まり、軍国主義が台頭した時代であった。

まず、昭和二年、先の内閣が金融恐慌対策の失敗により総辞職したあとを受けて成立した (67) (68) 内閣は、中国に対し、^(エ) 日露戦争によって得た満州における権益保護のためには武力行使も辞さない強硬外交を展開した。中国では当時、国内統一に向けて国民党軍を率いる (69) (70) が北伐を進めていたが、昭和三年六月、関東軍の一部の将校らが、革命軍の圧迫を受けて敗走する 奉天軍閥の (71) (72) を爆殺し、満洲の直接支配を試みて失敗する。当時真相を隠して「満州某重大事件」と称されたこの事件は、日中関係の悪化に拍車をかけ、日本の侵略戦争への序幕となった。

翌年十月に起こった世界的な大恐慌は、日本では (73) (74) 解禁に伴う緊縮財政と重なって、(75) (76) と呼ばれる深刻な不況を引き起こした。中小企業の倒産が相次いで大量の失業者を出し、各地で (77) (78) が頻発した。農産物は工業製品より価格の下落幅が大きく、とりわけアメリカ向けの重要な輸出品だった (79) (80) の価格が大暴落して、農村は深刻な打撃を受けた。困窮する農村では (81) (82) も激化した。一方、世界恐慌を受けて昭和五年に英・米・日・仏・伊が参加する (83) (84) が開かれた。日本政府代表は海軍軍令部の主張を抑えて軍縮条約に調印したが、軍部や右翼団体、野党の幹部等が、政府による兵力量の決定は天皇の (p) であると攻撃し、これ以降、軍部・立憲政友会が政治への介入を強めていく。

昭和六年九月十八日、奉天郊外の (85) (86) で満鉄路線を爆発させた関東軍が、これを中国軍の挑発として軍事行動を開始し、翌年には満州の主要地域を占領した。この (q) の勃発を機として (87) (88) 戦争が始まることとなる。昭和七年一月には (89) (90) 事変へと戦火が飛び火し、国内では、新聞やラジオなどのメディアが華々しく戦況を報告したこともあって、軍部は世論の支持を受けますます勢いにのっていった。

昭和八年、日本は「満州国」を不承認とするなどの採択を不服として (91) (92) からの脱退を通告し、国際的に孤立を深めていった。国内では言論統制が敷かれ、例えば「関東防空大演習を嗤う」と題する論説で軍部を批判した信濃毎日新聞の主筆 (93) (94) が辞任に追い込まれるなど、言論統制が強まってゆく。また、(95) (96) を代表作とするプロレタリア作家の (r) が拷問によって死亡したのもこの年である。

そして（ 〇 ）事件の翌年、 (97) (98) 事件を発端として日中戦争が起こり、その四年後、日本は真珠湾奇襲攻撃を行って太平洋戦争へと突入してゆくのである。

〔A〕 文中の空欄 (63) (64) ～ (97) (98) に入る最も適切な語句や人名を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A（マークシート）の所定の解答欄にマークしなさい。ただし、選択肢は 2 桁の数字であるから、次の点に注意すること。空欄の左側は 10 の位を、右側は 1 の位を表す。例えば、空欄 (63) (64) の解答が 19 だとしたら、解答欄 (63) は 1 をマークし、解答欄 (64) は 9 をマークしなさい。

《語群》

- | | | | |
|-----------|----------|----------|-----------------|
| 11 金融恐慌 | 12 日華 | 13 三十年 | 14 吉野作造 |
| 15 パリ平和会議 | 16 盧溝橋 | 17 日清 | 18 太陽のない街 |
| 19 桐生悠々 | 20 日米 | 21 芥川龍之介 | 22 天皇の人権宣言 |
| 23 羽仁五郎 | 24 周恩来 | 25 徳永直 | 26 斉南 |
| 27 横光利一 | 28 柳条湖 | 29 孫文 | 30 国際連合 |
| 31 馮玉祥 | 32 農業恐慌 | 33 若槻礼次郎 | 34 ポツダム宣言 |
| 35 東条英機 | 36 毛沢東 | 37 浜口雄幸 | 38 ワシントン会議 |
| 39 袁世凱 | 40 銀 | 41 張作霖 | 42 天皇機関説問題 |
| 43 生活の探求 | 44 蟹工船 | 45 大菩薩峠 | 46 蔣介石 |
| 47 金 | 48 十五年 | 49 ドル | 50 ロンドン海軍軍縮会議 |
| 51 生糸 | 52 米 | 53 永井荷風 | 54 谷崎潤一郎 |
| 55 昭和恐慌 | 56 小作争議 | 57 犬養毅 | 58 プロレタリア文学運動 |
| 59 労働争議 | 60 綿花 | 61 岡田啓介 | 62 ジュネーブ軍縮会議 |
| 63 田中義一 | 64 不平等条約 | 65 熱河 | 66 サンフランシスコ講和条約 |
| 67 国際連盟 | 68 第一次上海 | 69 主権 | 70 ローマ会議 |

〔B〕 文中の（ 〇 ）～（ r ）に入る最も適切な語句を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

〔C〕 下線部（エ）、（オ）に関して以下の問いに答えなさい。

（エ） 日露戦争後に結ばれたポーツマス条約において日本は韓国における指導権を得たが、このほかに、日本が中国東北部に進出する直接の足がかりとなる具体的な内容を二つ、解答用紙 B の解答欄 ① と ② にそれぞれ 20 字以内で書きなさい。

（オ） 暗殺された軍閥の息子であった張学良はのちに西安事件をおこす。この西安事件をきっかけにおこった中国国内の政治的な動きと、日本との関係におけるその意義について、句読点を含め 25 字以内で簡潔に書きなさい。